



玖波中だより No.17



大竹市立玖波中学校 令和7年2月21日

学校教育目標 「『なりたい自分』に向かって、挑戦する生徒の育成」

発行責任者 小田 大介 文責 藤川 健二

12月に実施した学校評価アンケートがまとまりましたので、これまでの推移と同時に掲載します。

令和6年度 第2回(後期) 生徒アンケート結果と推移

		R4		R5		R6	
		後期	前期	後期	前期	後期	
1	授業に主体的に取り組んでいる。	87	94	100	96	98	
2	授業で情報を分析(比較,分類,関連付け)して,何が分かるかを考えることがある。	92	80	90	90	88	
3	授業では自分の考えとその理由を明らかにしてみんなに分かりやすく伝えるように表現している。	76	82	85	91	94	
4	学習方法や学習進度を自分で選ぶ機会がある授業は主体的に取り組める。	△	△	△	90	95	
5	授業で,先生や仲間に認められて(ほめられた)嬉しいと感じることがある。	81	94	100	92	91	
6	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは普段の生活や社会に出た時に役に立つと思う。	98	96	93	96	92	
7	道徳の授業で学んだことを,実社会で活かそうと思うことがある。	92	90	94	96	90	
8	行事や日常生活の中で,先生や仲間に認められて(ほめられた)嬉しいと感じることがある。	96	98	100	92	93	
9	学級内の活動や,掃除や委員会の活動などで活躍できたと思う。	89	94	100	88	94	
10	掃除は時間前に開始し終了時間まで一生懸命取り組んでいる。	99	98	98	96	98	
11	生徒会活動(委員会,係活動等)では,学校生活の改善に役立っている。	98	94	98	96	96	
12	身だしなみ(服装,髪型,靴など)をきちんとしている。	98	86	84	98	94	
13	自分から進んで挨拶している。	△	88	100	94	94	
14	部活動や社会体育(スポーツ活動)に積極的に参加している。	87	92	96	90	79	
15	ボランティア活動に参加している。	74	78	75	81	76	
16	自分には良いところがあると思う。	78	80	81	85	88	
17	人の役に立てたと感じる事があった。	93	90	100	88	88	
18	他の人の良さに気づき,学ぶことができる。	97	96	100	98	94	
19	困ったことや悩みなどを相談できる先生がいる。	82	82	85	92	90	
20	何か問題が起こった時,自分で立ち直ることができる。	91	94	87	92	86	
21	体力がついたと感じる。	82	78	81	71	74	
22	将来叶えたい夢や希望がある。	△	90	85	92	82	
23	将来の夢や希望を叶えるために努力している。	△	84	81	88	86	
24	玖波中学校での学校生活に満足している。	△	92	96	96	90	

【主体的な学びに向かう生徒の育成】に関すること

- (1) 授業改善に係るアンケート項目(No.1~4)について、生徒の肯定的評価は高い。特に、学習方法や学習進度を選択できる授業について分かりやすい(No.4)と感じている生徒がとても多い。計画的に研究授業を実施した結果と考えられる。今後も生徒の実態把握をしっかり行い、実践交流を行いながら、有効な方法を生徒自身が選択できる授業づくりに努める。
- (2) 1・2学期に全教員で単元内自由進度学習(学習の方法の選択、自分の進度に合わせ学習)を取り入れた単元開発を行ったこともあり、その学習への理解がさらに深まり、授業改善につながった。来年度も少人数の強みを生かし、生徒が自己の課題に応じて学習内容や学習方法を選べる授業づくりを推進していく。

【豊かな心と健やかな心身の育成】に関すること

- (1) あいさつに関する項目(No.13)では生徒会執行部を中心に「あ・そ・ぼプロジェクト」の柱としてあいさつ運動が展開された成果が出ている。あいさつ運動週間の設定、集めたシールの枚数に応じて生徒全員に賞状を授与、上位3名は全校朝会で表彰等の賞賛の機会を全校生徒に広げ、意欲の向上につなげる。次年度は、あいさつシール以外にも挨拶の意欲が向上するような方法を生徒会執行部から提案する形で計画している。
- (2) 夢に関する項目(No.22、23)2・3年生で夢プロジェクトの取組の成果が出ている一方、1年生で低下がみられたのは、夢プロジェクトで活躍されている方々の話を聞き、現実が見えてきたこと及び進路選択に向け取組を意識する時期に至っていないことが考えられる。そのため、夢を叶えるためには何かしらのアクションを起こすことが大切であること、地道な努力が夢の実現に結びつくことを学ぶ機会を引き続き設定する。

令和6年度 第2回(後期) 保護者アンケート結果と推移

		R4		R5		R6	
		後期	前期	後期	前期	後期	前期
1	学校は、教育目標や学校の方針、指導計画や評価方法について、保護者に伝えている。	89	90	89	83	89	89
2	学校は、学校での活動や様子を「〇〇通信」やホームページ等で積極的に公開している。	98	90	94	85	88	88
3	玖波中学校のHPの「ダイアリー」を読んでいる。		57	52	57	51	51
4	学校は、学級指導や生活指導等で社会のルールを守る態度を育てようとしている。	91	86	89	81	82	82
5	先生は、子どもとコミュニケーションを積極的に取っている。	91	84	88	89	82	82
6	学校は、基礎的・基本的な学力の充実を図り、子どもに確かな学力をつけている。	87	80	87	92	82	82
7	学校の教育活動に満足している。	89	88	90	83	83	83

- (1) 2年・3年の保護者の満足度はやや減少したものの1年の保護者の満足度は14ポイント上昇した。上昇の要因として、1年生では先生と生徒とのコミュニケーションの項目(No.5)において、19ポイント上昇したことも一つと考える。引き続き、どの学年においても生徒の円滑なコミュニケーションを大切にしていきたい。

大きな反響を呼ぶ ～修学旅行その後 令和7年2月8日(土)中国新聞から～

大竹の自慢ぎゅっ

カキや美術館古里PR

大竹市の玖波中の生徒が、地元の産品や名所を紹介するリーフレットを作った。中学生の視点で古里をPRする4種類で、市内の公共施設やビジネスホテルに置く。優れた建築を表彰する「ベルサイユ賞」で世界で最も美しい美術館に選ばれた下瀬美術館や、「幻の城」といわれる電居城跡、沿岸部の工場夜景などが写真付きで登場



玖波中2年生が作った4種類のリーフレット

広島都市圏

1月下旬に修学旅行先の大阪市内の商店街で取り組んだ「あきんど体験」で、阿多田島のいりこせんべいや手すき和紙の便せんを販売した際に約200枚を配り「行ってみたい」などの反応があったという。

下瀬美術館を紹介した上名彩水さん(14)は「手に取った人が大竹の滞在を楽しみ、また来たいと思ってくれば」と期待している。(長部剛)

リーフレットは各方面からの反響が大変大きく増版も考えているところです。学習の取組の成果が評価されるって嬉しいものですね。2年生の皆さん「ありがとう」。